



きし もと み ほ こ
岸本美保子

兵庫教育大学附属幼稚園副園長

スリッパをそろえない、水を流さないなど、毎春、新入園児へのトイレの使い方指導に頭を悩ませています。

ト イレの正しい使い方を定着させるのはなかなか難しいものです。全体はもとより、個別での指導も必要です。

幼稚園や保育所の中には、スリッパを置く場所を線で囲ったり、スリッパの形を描いたりしているケースが見られます。これは習慣化するための有効な手立てです。しかし、そこで忘れてほしくないのは、なぜスリッパをそろえる必要があるのかを幼児に気付かせるといことです。

「なぜ、そろえないといけないのかな」と子どもたちに考えさせ、「散らかしたままだ、次の人や、次に自分が履くときに不便だね。だから、きちんとそろえようね」と伝えましょう。

用を足した後に水を流す



ことも同様です。先生やお母さんに言われるからではなく、水を流す意味を考えさせるのです。これは基本的な生活習慣の指導全般に言えることだと思えます。必要だからする。そうすることによって自分も他の人も気持ちよく生活ができる。これが基本ではないでしょうか。

近年、トイレもハイテク化が進み、自動で電気がつき、便座のふたが開き、用を足すと水が流れ、お尻の洗浄、乾燥もし

てくれます。さらにぜいたくなものだと、手洗いの蛇口に手をかざすと水が出て、濡れた手を乾かす温風まで出てきます。

便利な生活に慣れている子どもたちには、幼稚園や保育所など外のトイレは使いにくいかもしれません。しかし、基本的な生活習慣の定着のため子どもたちと共に考えることを大切に、保護者とも協力しながらトイレの正しい使い方を身に付けさせましょう。

キャンパストピックス

CAMPUS TOPICS

子育て支援ルーム「GENKI」がオープン



昨年10月、兵教大「やまくにプラザ」（加東市山国）で、子育て支援ルーム「GENKI」の開所式を開催。加治佐哲也学長や四海達也兵庫県健康福祉部子ども局長、安田正義加東市長らがテープカットを行った。GENKIは就学前教育専門職養成のためのカリキュラム開発が目的。乳幼児親子が気軽に利用できるプレイルームも備える。

加東キャンパスに「教育子午線ホール」が誕生

昨年10月、加東キャンパスに新施設「教育子午線ホール」が完成した。中央機械室を改修した同ホールは、最大174人を収容。200インチの電動巻き上げスクリーン、65インチディスプレイ2台に加え、Wi-Fi環境も完備。授業をはじめ、免許状更新講習や講演会、研修会などに使用する。



ふるさと川柳コンテストで附属中の山野井さんが最優秀賞



昨年10月、北播磨県民局主催の「第1回ふるさと川柳コンテスト」の児童・生徒部門で附属中学校2年の山野井雄理さんが最優秀賞、河村真瑚さんが優秀賞を受賞した。山野井さんの受賞作は「行くたびにほめてもらえる母の里」、河村さんは「ふるさとを私を包む大きな手」。同部門には全国から843人（1,401句）の応募があった。